

事業番号	05 09 06	事業改善シート（28年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	食肉衛生検査所運営事業			担当課	部局	健康福祉部	
					課・局・室	食品・生活衛生課	
総合5か年計画	プロジェクト				E-mail	shokusei@pref.nagano.lg.jp	
	施策の総合的展開	4-2 県民生活の安全確保 4 食品・医薬品等の安全確保		実施期間	S25 ~		
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針						
	施策展開						

1 事業の概要

目指す姿	食肉衛生検査所において、と畜検査をはじめとする食肉衛生に関する事業を実施し、安全な食肉を供給することを目指す。					
現状（予算編成時）	県内のと畜場でと畜されるすべての獣畜のと畜検査を実施する。 食肉衛生対策のための精密検査や衛生指導のための調査研究を行う。					
県が関与する理由	県でなければ実施不可（法令等義務）		【左記の説明、根拠法令等】			
	県民との協働による実施：実施は困難		と畜場法			
成果目標・事業内容	① 成果目標（H28）					
	・腸管出血性大腸菌を含む食肉等の細菌検査を1,075件（牛：15頭に1頭の割合で検査）実施する。 ・食肉の生食や加熱不足による食中毒防止のため、食肉の細菌による汚染実態調査を320件（牛：40頭に1頭、馬：5頭に1頭の割合で検査）実施する。					
	② 事業内容（単位：千円）					
	項目	実施方法	H28事業実績	H28 (当初) (決算)		H29 (当初)
	と畜検査	直接	・と畜検査の実施（全頭） ・精密検査の実施	67,071	51,257	58,523
	と畜検査疾病データ収集管理	直接・委託	・と畜検査疾病データの集積 ・と畜検査疾病データの申請者等へのフィードバック	6,584	6,687	6,584
生食用食肉等衛生対策	直接	・食肉の生食や加熱不足による食中毒防止のため、食肉の細菌による汚染実態調査を実施（320件）	453	453	453	
と畜場における腸管出血性大腸菌等検査	直接	・食肉等の腸管出血性大腸菌検査を実施（1,075件）	1,510	1,509	1,510	
		合計	75,618	59,906	67,070	

事業コスト	区分（単位：千円）	27年度	28年度	29年度	成果目標の達成状況								
	予算額	前年度繰越				項目	H26末	H27末	H28			H29 目標	
		当初予算	69,042	75,618	67,070				目標	成果	達成状況		
		補正予算											
		合計（A）	69,042	75,618	67,070								
	Aの財源	一般財源	18,875	25,336	20,356	腸管出血性大腸菌検査	1,362件	1,318件	1,075件	1,275件	達成	1,075件	
		県債											
		国庫支出金											
		その他	50,167	50,282	46,714								
	決算額（B）	60,324	59,906		生食用食肉等衛生対策	321件	390件	320件	511件	達成	—		
概算人件費	職員数（人）	25.00	25.00	25.00									
概算人件費（C）	206,900	197,850	197,850										
概算事業費（B（A）+C）	267,224	257,756	264,920										

目標に対する成果の状況	食中毒発生防止のため食肉の細菌汚染の実態調査を実施し、目標数を達成することができた。検査結果に基づき、と畜場設置者及び作業従事者へ衛生的な取扱いの指導及び施設、使用器具及び枝肉等の消毒を徹底し食中毒の発生防止と食肉の安全性を確保することができた。
-------------	---

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	引き続き厳正なと畜検査を実施するとともに、微生物汚染実態調査により衛生的な食肉が生産されるように指導を実施し、食肉を起因とした食中毒が発生しないように努める。